



おいしい給食に感謝しよう

あけましておめでとうございます。

みなさん、お正月はどのように過ごしましたか？おうちでゆっくり過ごした人もいれば、お出かけした人もいるかと思います。

長い休みのときは生活リズムがくずれてしまうことがあります。早寝早起きを心がけ、生活リズムと体調を整えていきましょう。

2026年も安心・安全なおいしい給食づくりを心がけていきます。
どうぞよろしくおねがいします。

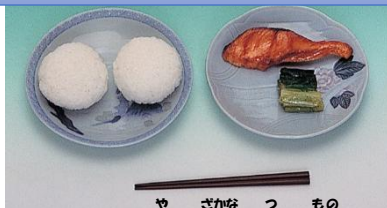


1月24日～30日まで

がっこうきゅうしょくしゅうかん
学校給食週間が始まります！！

第二次世界大戦のあと、ユニセフなどからの支援をうけ、戦争で中断していた学校給食を再開したのが、昭和21年12月24日でした。この日を記念して、「学校給食感謝の日」が設けられました。しかし、この日は全国的に冬休みになるため、その一か月後の1月24日を給食記念日としています。

明治22年ころの給食(給食が始まったころ)



おにぎり、焼き魚、漬け物



今の給食とくらべて、どうでしょうか？

学校給食の歴史

年号	明治 二十二年	昭和 七年	十八年	二十一年	二十九年	平成 二十年
給食の流れ	山形県の忠愛小学校で学校給食が始まる。 このころの学校給食は、それぞれの家庭から持ちよった米や野菜で作られていた。	国からの補助金により、学校に來れない子や体の弱い子を救うために各地で学校給食が始まる。	戦争がはじまり、食糧不足のため各地で学校給食が中止される。	救済団体やユニセフから、小麦粉、脱脂粉乳、缶詰などが送られ、学校給食が再開される。	学校給食法が改正される。	学校給食の目標が栄養補給から食育へ

がっこうきゅうしょくはやくわりか
学校給食の果たす役割は変わってきています！！

おかし えいようかいぜん
昔：栄養改善

⇒⇒⇒ いま しょういく
今：食育

きゅうしょくとおと じぶん しょくせいかつ
給食を通して、自分の食生活
けんこう み かんが しょういく
や健康を見つめ考える食育の
ば へんか
場へと変化しています・・・。

給食が食べられることは、当たり前ではありません。生産者のかた、食材を運んでくださるかた、作ってくださるかた、たくさんの人の協力があり、食べることができるのです。

「いただきます」と感謝の気持ちをこめたあいさつを心がけましょう。

